

門信徒会年次総会開催！ ～ 役員改選も行われる～



例年より10日も早く満開の桜（横河川堤防：30.4.8）



発行所
岡谷市郷田一丁目6番3号
TEL(0266)22-2524
金松山 敬念寺
発行
敬念寺門信徒会
編集
会報組織委員会

朝7時はみ仏さまや
彼(か)の人との
出会(であ)いの時間

小僧の目

▼青葉若葉の良い季節を過ぎますと直ぐにお盆の季節がやってきます。お盆は「盂蘭盆経」の故事に由来し、浄土真宗では本来「歡喜会」と呼ばれています。一年の半分が過ぎた夏までお育て戴いた仏縁を喜びあい、あと半年も仏法を大切に聞法の生活をし、お念仏に目覚めた生活をさせていただきよう、お互いが心の交流を図るのがお盆の一面だと思えます。▼お盆には平素仏縁のないものでもお墓や、お寺に参って法話を聞いたり、お仏壇にお参りする習慣が生きています。▼これは、今は亡き人への思慕が、仏縁を通して深められているからこそその尊い習慣であります。▼お盆には、やはり近親者の死がもつとも鮮やかに、人々の心によみがえってきます。▼親には苦勞の掛けっぱなしであったこと、お年寄りに対して思いやりの心がなかったことなどが思い出されてきて、思わず手を合わせるのもお盆であります。▼積尊は、人間に生まれることができたのは、両親の縁あつてのことであり、誕生の後、お育てのご苦勞をされたのも両親ですから、両親は生死を超えて大切であると教えています。▼世間ではよく聞く事ですが「親には安心してもらわねばならないし、孝養を尽くさねばならないと思つてはいるのですが・・・」という人がいますが、どれほど頭や心で思つていても、それでは孝養になつていないのです。▼積尊は、親には「色養せよ」と申されています。色養とは、心で思うだけでなく身体で、姿形をもつて（亡くなった両親だけでなく、現に生きておられる両親に）仕えよと言うのです。▼浄土真宗の教えは、人間に生まれたご縁と人間が仏と成ることのご縁の尊さを喜ばせていただくことですから、お盆にはこの世の縁の尽きて浄土に往生された方々に、改めてご恩報謝の心からお念仏申しお礼を申し上げます。

釋 玄真

寺院行事

- 6月10日(日) 第7回早朝公開講座 前 7:00
講師 岡崎芳次先生 (大阪府)
- 7月29日(日) (新)ファミリー参拝 後 1:00
- 8月 1日(水) ~10日(金)
第39回早朝連続参拝 前 5:30

定例法話会

- 6月20日(水) 講師 佐々木蓮乗先生 (兵庫県)
- 7月20日(金) 講師 遠山 信敬先生 (福井県)
- 8月20日(月) 講師 木賈 慈教先生 (長野市)
- 9月20日(木) 講師 丸山 文雄先生 (新潟県)

いずれも毎月20日 夜7:00からです。

平成三十年度年次総会の報告

平成三十年度敬念寺門信徒会年次総会は四月二十一日に開催。議長に武居進氏を選出し、議案審議が行われた。今回は役員任期(四年)満了年に当たり、役員改選も行われた。(以下概要を報告)

★事業報告では、「護寺協力金の状況」、「敬念寺中・長期ビジョン検討結果」が説明された。

★「護寺協力金」については、門信徒各位のご理解とお世話人の協力により着実に実績が上がり、財務健全化に寄与している状況が、「中長期ビジョン」については、

八項目の検討結果(第一期と位置付け)と次年度以降第二期として継続検討することが説明された。

★続いて、平成三十年度事業計画・予算案、役員改選案が提案され、審議の結果すべて承認され総会の幕が閉じられた。

なお、総会に先立ち退任・新任お世話人の発表があり、新任お世話人へ委嘱状が手渡された。

御世話人の異動

四月二十一日付

退任 長い間ご苦勞様でした。

川尻 千尋さん(郷田)
大滝 岩美さん(山下町)

小林 忠志さん(山下町)
山田正四郎さん(山下町)
清水 登さん(山手町)
齋藤 則男さん(成田町)
渋谷 常則さん(湊)
下澤五三六さん(湖畔)
村松 豊秋さん(堀ノ内)
宮嶋 一守さん(神明町)
土井 章利さん(神明町)
宮崎 正行さん(長地小萩)

新任

よろしくお願ひします。

足助つや子さん(郷田)
坂 剛仁さん(山下町)
田瀬 和夫さん(幸町)
柴田 実さん(山手町)
山崎 和子さん(山手町)
太田 清さん(御倉町)
小池 良祐さん(湊)
杉本晋太郎さん(南宮)
大矢 清美さん(堀ノ内)
平沢 祐次さん(神明町)
保科 智昭さん(神明町)
遠藤 孝夫さん(長地小萩)

○委員会付世話人

木下茂登次さん(財務委員会付)
代田 浩実さん(教化委員会付)



敬念寺中・長期ビジョン(第一期)検討状況報告

現門信徒役員任期が満了しました。

任期中、敬念寺並びに門信徒会としての「寺院の将来あるべき姿の検討と対策」を事業計画に掲げ検討してまいりました。

任期満了に当たり、検討の経過と結果をお知らせします。なお、次年度以降も第二期として引き続き検討を進めてまいります。

◎過去「敬念寺だより」掲載記事

- 第一一四号(27・3・10) 二頁
- 第一一五号(27・5・31) 三頁
- 第一一六号(27・10・31) 三頁
- 第一一七号(28・3・10) 二頁
- 第一一九号(28・10・31) 四頁
- 第一二〇号(29・3・10) 二頁

◆平成二十六年

- ・事業計画に「寺院の将来あるべき姿の検討と対策」を計上
- ・お寺三百六十度診断実施
- ・お世話人へのアンケート実施

◆平成二十七年

- ・事業計画に「お寺と門信徒会の中期ビジョン計画検討、推進」を計上
- ・前年度の「診断」と「アンケート」の結果を分析検討。

検討項目を次の八項目に整理し、分科会を設置し検討を進める。

- ①寺院根幹事項
- ②寺の目指すべき方向
- ③「生涯聞法」の構築
- ④教化組織
- ⑤教化事業
- ⑥門信徒会財務体質健全化
- ⑦中期営繕計画
- ⑧門信徒の悩み・要望対応

◆平成二十八年

- ・年次総会に、門信徒会財務基盤強化策として検討した「護寺基本金会計」新設を提案、承認。
- ・(検討項目の⑥)
- ・同じく、「会館・庫裏の保守営繕計画」を提案、承認。

- ・他の項目を引き続き検討

◆平成二十九年

- ・これまでの検討結果を第一期と位置付けて年次総会に報告。引き続き 第二期として検討する。
- ・(前頁参照)

☆第一期検討結果☆

①寺院根幹事項

- ・住職継承、血脈相統等について検討、引き続き検討。

②寺の目指すべき方向

- ・日常何気に、気楽にお寺に来てもらえるように。お寺の敷居を下げ気軽に立ち寄れる雰囲気のお寺に。

③「生涯聞法」の構築

- ・若院による「初級講座」構想を三十年代具体化する。

④教化組織

- ・若院構想の初級講座等をきっかけにして教化組織化へ。
- ・若婦人層の勧誘、初参式の啓蒙等で婦人部の組織強化

⑤教化事業

- ・ファミリー参拝のリニューアル化。流しソーマンを主体に、日曜日(今年七月二九日)午後開催。
- ・子供向け事前募集型事業について継続検討。

⑥門信徒会財務体質健全化

- ・平成二十八年度に護寺基本金会計を新設。護寺協力金の創設

- ・民間葬祭施設の通夜利用は喪主判断で(葬儀はお寺の利用を)。
- ・分院に代わる施設の必要性は長期的な検討課題
- ・相談窓口、相談対応としては、日曜礼拝、法話会、法等の機会に(寺、門信徒会役員へ)相談していた。電話相談の要否は、次期の課題として相談状況を見ながら検討していく。

(従来の会費三千円以上の以上分を充てる。)

⑦中期営繕計画

- ・平成二十九年度に寺院・庫裏保守営繕工事実施とソファー・下敷きカーペット更新。

⑧門信徒の悩み・要望対応

- ・分院について一層の情報提供を行い、条件の合う方に利用していただく。
- ・参拝ホルルの通夜利用は継続検討

中央教修参加者投稿

松本組連続研修を修了した後、住職の推薦により、本山の「門徒推進員中央教修」に参加された二名の方から投稿していただきました。

第二五七回 門徒推進員中央教修に参加して

岡谷市 北嶋 裕子

緊張の中一人で本山に向かいました。

初日は班に分かれ法座(車座)になり「であい」をテーマに話し合い、二日目は晨朝参拝の後帰敬式(おかみそり)をお受けし法名を頂くことが出来ました。が、その際参加者全員を代表して阿弥陀様の前に「帰敬文」を読み上げるように前日ご指名を頂き、読ませていただいたことは私にとって貴重な体験と喜びでありました。

この日の法座は「御教えからの気づき」・「御同朋の社会とは」をテーマにメンバーの活発な発言がありました。夜の就寝動行では参加者の代表で「聖句朗読」をさせていただきました。

三日目の法座は「救いと歩み」について話し合い、その後「決意表明

式」です。お灯明のみの暗い部屋で、静寂の中教えられた作法に則り肅々と一人ひとり決意の表明を行いました。

私は「浄土真宗の生活信条を心に日々大切にしてまいります。」と決意表明させていただきました。

廊下に先生方スタッフの笑顔が並び拍手で迎えられ、緊張から解き放たれてホッとしました。

新たな出会いに始まり様々なお話を聞かせいただき、今までに気が付かなかつた自分に気づくことが出来、この研修を受けて唯一伝えることが出来るのは『阿弥陀様の願い。それは、「いつさい平等である」と。』

新たな御同朋にも会えて素敵な研修でした。台風を追うようにバスに揺られて六時間余り、帰宅することが出来ました。

門徒推進員中央教修に参加して

辰野町 栗岡 正治

松本組の連研を終了して数年、やはり次の研修に参加したいと思ひ、ご住職にお願いして参加いたしました。

全国から二十七名の法友が集まり、先ず「出会い」を課題にした各メンバーの自己紹介があり、様々な

考え方があるのを知ることができました。

二日目は仏弟子として「帰敬文」を唱え、真実を抛り所として浄土への道を歩み阿弥陀仏と親鸞聖人に誓う儀式「お剃刀」を受け法名を頂くことが出来ました。

法座は「戦争」、「差別」の課題を真剣に語り合い、三日目は自分にとって今後どのように生きてゆくべきか考え、決意表明をしました。私は「同じ思いの人を誘い、安穏な世界になるよう努めます。」と緊張の中表明することが出来ました。

『この研修は「資格」ではない、「自覚」である。自分のために生きて欲しい。』と先生方に言葉を頂きました。

教修を機に集まった仲間が、赤裸々に話し、笑い、泣いたことは私の一生の宝となり、生きてゆく力となりました。

今後は、阿弥陀様の御教えに生き、感謝して生きてゆこうと思ひます。

「門徒推進員」とは浄土真宗のみ教えを広めていく「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)を僧侶とともに推進していく方々です。松本組の「門徒推進員養成連続研修会(連研)」を修了した方が中央教修を受講しています。

第7回 敬念寺早朝公開講座

今年も早朝公開講座を次のように開催いたします。

時・所 6月10日(日) 敬念寺本堂
前7:00~8:30 岡谷市出身
講師 岡崎 芳次先生 (大阪医科大学医学部准教授:理学博士)
講題 「植物と水のつきあい」 —藻類から学ぶ—

背の高い樹木がてっぺんまで水を吸い上げている。どのようにして?
生物(植物)の基本単位は細胞。「車軸藻」という種類の細胞が、水を体内に取り込んで樹木の高いところまで運び上げている。などなど、不思議な興味深いお話をお聞きます。

“リニューアル”

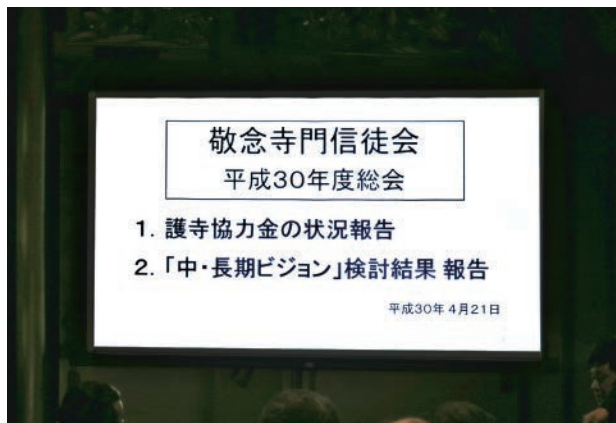
ファミリー参拝のお知らせ

今年のファミリー参拝は、次のようにリニューアルして開催いたします。ご家族そろって大勢のご参加お待ちしております。

日時: 7月29日(日) 午後1時~3時
場所: 本堂及び本堂下広場
内容: お参り、阿弥陀様の前で記念写真、流しソーメンを主体のイベント



新任お世話人を委嘱(30.4.21)



門信徒会長がスライドで事業報告(30.4.21)

年次総会のようす

七月末日までに!

門信徒会費と護寺協力金のお願ひ

今年も寺の維持管理の資金、更なる教化活動の振興のため、会費と護寺協力金のお願ひに担当のお世話人が近日中にお伺ひしますが、ご協力の程お願ひします。

○ご依頼額は年間三千元以上

※以上分が「護寺協力金」となります。



新盆法要での発表にむけて練習する皆さん(30.5.8)

コールガンダー練習中!

今年も! 「護寺協力金」について御礼とお願ひ

財務基盤強化の一環として平成28年度に「**護寺協力金**」が新設され、今年で3年目となります。

お世話人を通じ、年度会費3千円徴収の際にご協力をお願いしておりますが、お陰様で皆様のご理解・ご協力により年々定着し、財務健全化につながっております。

(従来から会費は3千円以上となっておりますが、以上分の浄財を「護寺協力金」に充てさせていただきます。)

この浄財は、全額「護寺基本金」に積み立てて、大規模営繕・大規模法要等の費用に備えています。昨年度執行した「本山伝灯奉告法要門徒懇志金」及び「寺院大規模保守・営繕工事」の経費もこの会計から支出されています。

今年も、担当のお世話人がお伺ひした折には、引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。